

The Learner

Doshisha International Academy Elementary School

June
ISSUE



June, 2025
Volume 157

自由と責任

新学期が始まって2か月が過ぎようとしています。毎日、朝から子どもたちの元気な声が学校を活気づけてくれています。

教頭という仕事を拝命して3年目になりました。普段は職員室にて会議で提案する文書の作成、教職員やきずな会（保護者会）様とのメールのやり取りなど、パソコンとにらめっこすることが多いのですが、休憩時間（ときには授業中も）には教室にお邪魔して子どもたちとコミュニケーションをとっています。

特に過去に担任した6年生や5年生をはじめ、どの学年の子どもたちも、教室を訪ねると必ず誰かが声をかけてくれ、他愛もない話で盛り上がります。

「やはりコミュニケーションを大切にしている学校だなあ。」と思いますし、そのように子どもたちが育てられていることに感謝しています。

そして本校は同志社の基本理念「キリスト教主義」「自由主義」「国際主義」を大切にしている学校です。

「キリスト教主義」とは、キリスト教である・ないにかかわらず「他者を愛する」というキリスト教の考え方を学びつつ、それを自分の人生に生かしてほしいということでしょう。

また「自由主義」とは、自分自身の（他者から強いられる考えではなく）自由に基づいた信念をしっかりと持って行動できる人材を育てること、「国際主義」とは、常に世界的な視野に立って物事を考えられる人にと私は捉えています。

この中で、「自由主義」について考えてみたいと思います。

本校をはじめ同志社の学校は制服がありません。服装も髪型も、アクセサリーの着用といった、個人に関わることは基本的に自由です。ピアスをつけている児童もいれば、髪の毛を着色している児童もいます。（も

ろん登下校のマナー、学校に持ってきて良いものやいけないものなど、最低限のルールはあります。また保護者様に対しても、校内での写真や動画の撮影は禁止など、守っていただくルールもございます。）

一方で、「自由」とは必ず「責任」が伴うものだということも学校では大切にしています。自分の言動によって他人がどう思うのか、一部の人にとってはいいかもしれないが、そうでない人にとってはどうなのかetc…。「自由」とは、「自分勝手に何をしてもいい」わけではありません。

1年生の保護者様には、春学期の終わる7月18日（金）まで、バスの乗降場所（祝園駅または学研奈良登美ヶ丘駅）または学校まで送り迎えをお願いしています。これは慣れない電車通学の不安を解消するだけでなく、公共交通機関でのマナーについて親子で考えていただくという重要な役割も担っています。お忙しいところ本当にありがとうございます。

また先日の「全体コミュニケーションタイム（学校から全保護者への連絡会）」でも、自家用車で来校された保護者様へのお話もさせていただきました（今回学校の駐車場を使用できたのは、1年生と昨秋以降の編転入生などの保護者様でした）。

「ちょっとぐらい」の気持ちから、付近の店舗などの無料駐車場へ駐車することが、子どもへの教育にいいはずがありません。そして、子どもは親の背中を見て育ちます。

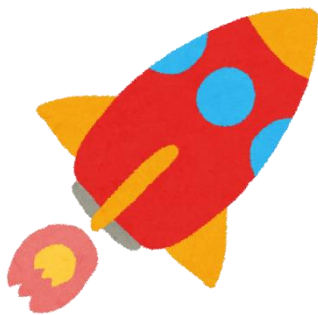
「自由と責任」、言うは易く行うは難しいですが、これからもこの言葉を大切に、子どもたちと過ごしていこうと思います。

教頭 風間 寛



キリスト教教育

6月：思いやり June：Compassion



聖書：「善い人はその心の良い倉から良い物を出し、
悪い人は悪い倉から悪い物を出す。」

ルカによる福音書 6章 45節（聖書協会共同訳）

筆者が幼稚園の年長児だった時のことです。恐らく卒園記念か何かだったのでありましょう、園児全員に「教育かるた」が配られました。フレーベル館出版で、読み札の文章は後に「アンパンマン」で有名になった、やなせたかし氏を書いておられました。世界の様々な国の文化や特産物、天然記念物などを美しい絵札と共に紹介したかるたで、作者の名文と相まって大変わかりやすく楽しく、私は幼稚園児の頃はもちろん、小学校に上がってからも何度もこのかるたで遊び、当時まだ行ったこともない国々の様子に思いを馳せていました。

ところでこのかるたの中に、「地球離れて月へ行く」というものがありました。実はこのかるたが出版されたのは、アメリカの宇宙飛行船アポロ 11号が初めて月面着陸に成功した年で、世界中がその話題で持ち切りでした。翌年には大阪で万国博覧会が催され、アメリカ館で展示中の「月の石」を一目見ようと、連日長蛇の列ができていました。小学1年生になった筆者は背の高い大人たちに交じって興味津々「月の石」を見上げ、宇宙のロマンを感じたことを憶えています。

しかしながら、このアメリカの快挙が手放して喜ぶ事態ではなかったことを知ったのは、もう少し大人になってからでした。このかるたの絵札左下部分に「あめりか そびえと うちゅうろけつ」とあります。つまり、当時の米ソ両国は、いつ世界戦争が起きても相手に引けを取らないように競ってロケット開発に力を入れていたわけで、月面着陸の成功なども言わば、東西冷戦の延長線上にあったと言えるでしょう。そしてこれは決して過去の出来事ではなく、今の世界でも現在進行形で起こっていることです。ロケットの先頭に載せる物が世界の人々に正確な天気知らせ、互いのコミュニケーションを容易にするための人工衛星なのか、はてまた他国を一瞬にして焦土と化し、隣人の命を奪う核弾頭なのか—つまり「平和の道具」なのか「殺りく兵器」なのか、選ぶのはひとえに人間自身なのです。

科学技術の発展は目覚ましく、半世紀前はSF映画の世界でしか見られなかったような機器が現実のものとなり、それはスマホやタブレットのような形で瞬間に一般庶民のレベルにまで下りてきました。そのうちに宇宙旅行も、皆が手頃な価格で楽しめるような時代になるかも知れません。今は自動車の新型モデルが取沙汰されますが将来は空飛ぶ車のデザインが人々の関心の的となり、また飛行機のCAさんが憧れられるようにして将来は宇宙飛行船のガイドさんが憧れの職業になるかも知れません。もしかすると、本校卒業生の中からも新型ロケットの開発や設計に携わったり、今よりも大規模な国際宇宙ステーションで常時働く人が出て来たりするかも知れない、などと考えます。

忘れてはならないのは、どんなに科学技術が発展しようとも、人間の本性は変わらないということです。古代では河岸のあちらとこちらでクニを分け、石を投げ合っていた戦争が、今は科学技術の発展によって石の代わりにミサイルを飛ばし合うようになっただけのことです。せめてDIAで学んだ皆さんには、「一国の良心」ならぬ「一球（地球）の良心」となって、周囲に愛と平和を浸透させる人であってほしいと願います。

Christian Education Committee チャプレン石川眞弓

<お知らせ>

① 6月4日（水）花の日礼拝

日頃お世話になっている方々に花を贈ります。

お子様に花を一輪、お持たせください（大きな花束は必要ありません）。

② 6月10日（火）おにぎり献金

以下の施設を覚えて、献金を捧げます。

・国内：岩手キリスト教学園認定こども園宮古ひかり、福島県の若松聖愛幼稚園、熊本県の慈恵病院「こうのとりのゆりかご」、北陸学院キリスト教センター（石川県能登半島地震支援金口）

・海外：日本ユニセフ協会「ウクライナ緊急募金」・「シリア緊急募金」・「ガザ人道危機」・「ミャンマー地震緊急募金」

賛同していただける方は、お子様に献金をお持たせください。

G4 Field Trip to Expo 2025 Osaka, Kansai, Japan ～ 「未来」と「世界」に触れることの大切さ(4年生) ～

DIAでは、5月13日(火)、14日(水)、15日(木)に2学年ずつに分かれて大阪関西万博へ全校児童が行きました。本号では、4年生の万博見学について子ども達の様子を少しご紹介します。

2025年大阪・関西万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」とされています。万博の公式キャラクター「ミyakミyak」は、このテーマである「いのち」を表現しており、生命の循環やつながりが脈々と続いていくことを表しています。どのパビリオンでも、メインテーマをどう表現するか考え抜かれて設置がされていました。

本校の4年生は、「未来の都市パビリオン」と「北欧館」を訪れました。未来の公共交通や水中工事等を学べたり、北欧の健康への考え方や環境を重視したライフサイクルを見たりでき、子ども達は目を輝かせていました。体験できるものには意欲的に参加し、展示や説明を理解しようと一生懸命見入っていました。しかし、大人でもそうですが、恐らく、全てのことを完全に理解して自分のものにできた子は少ないかもしれません。「旅費と時間をかけ、たくさんの安全配慮をしながら子ども達を連れていったのに、子どもが理解していないのなら何の意味もない。」と言われそうですが、そんなことは決してありません。

批判的な意見も含め、万博に対して様々な考えがある中で、私が担任として万博訪問に意義があると感じた点は2つです。

1つ目は、本校が学習の中心としている探究学習に良い影響を与えるからです。

探究は、自ら疑問を持つところから始まり、最後に自分なりの考えを深めていきます。自分の中に「不思議だなあ。」「どうやらできるのかなあ。」と思う心が、最も大切な要素となります。万博会場では、子ども達には分からないことがたくさんあったかもしれません。しかし、目に見える形で『未来』を認識することで、探究心を持つために貴重な強い刺激を得られました。今ではインターネットの世界でも、未来について十分な知識を見つけることができます。しかし、実際に触れることと画面で知識を得ることが天と地ほどの差があることは、誰もが同意していただけることと思います。今回の万博で子ども達が肌で感じたことは、大人になっても決して忘れないものになりました。

2つ目は、『世界』のつながりを感じられるからです。

本校ではバイリンガル教育も教育の大切な柱の1つです。バイリンガル教育は、英語に着目されがちですが、英語力以上に、世界の人たちとつながり、理解し合うことの大切さを国際感覚として獲得していくことが大切になります。訪れた国の人達と個人で交流を持つことはできますが、世界中のたくさんの人達と一つのイベントに参加する経験は個人の努力だけではできません。共通のテーマに向けて運営されているビッグイベントの中で、「協力」がもたらすものを体感できるのは万博ならではの経験と言えます。しかも、その協力体制を日本がリードして実施しているのですから、滅多にないチャンスなのです。海外のブースで英語の展示を見たり現地係員と英語で話したりすることはコミュニケーションの入り口であり、コミュニケーションをしながら「世界の人たちと協力すれば、大きなことを成す力が私達にはある。」ということ、子ども達に感じてもらいたかったのです。

私自身(4年担任)が子どもの頃に訪れた1985年の「つくば万博」を、今でも覚えています。当時から科学ブームを巻き起こした万博と言われており、目のついたロボットがぶつからずに勝手に移動していたり、機器で読み取った字が離れた機械から同じように出てきたり(現在のファックス機能)していたのを不思議に思っていました。その経験は、今ではレストランでの配膳ロボットで日常的に目に



することができ、ファックスは各家庭に置かれた

時代はとっくに過ぎ去り、メール送信やクラウド共有などに取って代わるほど時代は流れました。これらは、人間が探究心を持って努力してきたからに他なりません。

一人ひとりが探究心を持って知恵をしまり、多くの人や国と協力することによって、人々の快適な生活と便利な社会が生まれ出され、そして平和な世界が実現します。その一端を担う子ども達にとって、大阪関西万博で「未来」と「世界」に触れた経験が、人生における何かのきっかけの一つになってくれることを、心から願っています。





おしらせ

6月

海外の6月の言い方、June (英語) Juni (ドイツ語) Juin (フランス語) Junio (スペイン語)。古代ローマ時代 (紀元前8世紀)、6月には「ユニーウス (Junius・繁茂月)」という名前が付いていました。西洋の国々の6月の言いかたはこの「ユニーウス」がもとになっています。

『かこさとしこどもの行事しぜんと生活 6月のまき』

かこ さとし 文・絵 出版社：小峰書店



虫歯予防デー、時の記念日、父の日など、たくさんの絵で行事の由来を紹介する行事絵本の決定版！芒種、夏至などの二十四節気、梅雨入り、ムギの秋、ホタル、梅の実、お父さんとの楽しい遊びなどを紹介します。日本の別の言い方として、水月、水無月、伏月、青水無月、季月、鳴雷月、鳴神月、常夏月、松風月、風待月。昔の暦では6月は夏のさかりだったため、6月の別の言い方には夏を表すことばが多く入っています。

『雨をよぶ龍 4年にいちどの雨ごい行事』

秋山とも子・文絵 出版社：童心社



埼玉県鶴ヶ島市脚折地区に江戸時代から伝わる「脚折雨乞」という降雨祈願の行事です。昭和39年を最後に途絶えましたが、昭和51年に復活、以後4年に1回行われています。農村における手仕事の技の継承という意味でも貴重な行事です。国選無形民俗文化財・鶴ヶ島市指定無形文化。竹と麦わらで作られる「龍神」は長さ36メートル、重さ3トン。約300人の男たちで担がれ、白髭神社から雷電池までの約2キロの行程を練り歩きます。雷電池に到着後、池に入ります。池のなかをぐるぐるとまわって、最後は担ぎ手たちの手で「龍神」は解体されます。

『なつのおとずれ』かがくいひろし作・絵

出版者：PHP 研究所



気象予報士のかたつむりが「梅雨明けはもうすぐでしょう。」と伝えました。すると太陽が「もうすぐ梅雨明けですか。そろそろみんなに知らせますか。」と立ち上がりました。まず、メロンとスイカが誰かに呼ばれたような気がしました。それに続いて、セミ、カブトムシ、かきごおり、ソフトクリーム、せんぷうきとひまわりも呼ばれたようです。いよいよ夏の風物詩たちの出番になりました。

6月の主な行事・予定

6月5日～6月6日 G2 宿泊学習
6月7日 G4 京都府私立小学校連合音楽会
6月18日～6月20日 G4 宿泊学習

1	日	
2	月	
3	火	Unit2(week2) G4 校外学習/Excursion
4	水	花の日礼拝/Flower worship service G1 校外学習/Excursion
5	木	G2 宿泊学習/Overnight trip, Swimming(G4/G5/G6)
6	金	G2 宿泊学習/Overnight trip, G5 中学校進学保護者説明会 / The explanatory MTG of recommendation system, G6 校外学習/Excursion
7	土	私小連音楽会(G4,午前中)/Kyoto private elementary schools concert (AM)
8	日	
9	月	Unit2(week3)
10	火	
11	水	
12	木	G3 校外学習 Field trip
13	金	第2回学校説明会/#2 Explanatory Meeting
14	土	
15	日	
16	月	Unit2(week4)
17	火	
18	水	G4 宿泊学習/Overnight trip
19	木	G4 宿泊学習/Overnight trip, Swimming (G2/G5/G6)
20	金	G4 宿泊学習/Overnight trip
21	土	
22	日	
23	月	Unit2(week5)
24	火	
25	水	教員研修のため午前授業(1～4時間目)昼食後下校 / Teachers' PD day (AM lessons with lunch)
26	木	G6 推薦願作成説明会(Zoom) / Information session on how to write a recommendation application, Swimming(G1/G3/G4)
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	Buffer week, 参観・学期報告会/Open classes & Trimester end report meeting

7月の主な行事・予定

6/30(月) 参観・学期報告会
～7/9(水)
7/14(月) 学期末カンファレンス (希望者) (午前授業)
～7/16(水)
7/17(木) 午前授業
7/18(水) 終業礼拝 (午前授業)